

校長室だより

令和6年1月10日(水)

- 1 新年のスタートにあたり
- 2 生徒会役員任命
- 3 生徒の活躍(表彰関係)
- 4 今年度の学校評価の結果について



小山市立美田中学校



素晴らしい人＋素晴らしい環境＋素晴らしい地域
魅力ある美田中学校

1 新年のスタートにあたり

本年もどうぞよろしくお願いいたします。元旦には能登半島地震があり、多くの方々が被災されました。こうして、予定通りに3学期の始業式を迎えることができたことも決して当たり前ではないのだと痛感しております。

昨日の始業式では式辞の中で3学期のキーワードを「感謝」と伝えました。学校は一年一年を区切りとして、仲間との出会いと別れを繰り返していきます。一緒に過ごせる仲間や先生に、そして、いつも自分の成長をそばで見守ってくれている家族や地域の方々に、感謝の気持ちを持って一日一日、大切に過ごして欲しいと願っています。また、一年間の集大成として、今まで自分が学んできたことや指導を受けたことを目に見える形で、つまり行動や態度で示せると良いと思います。それが、まさにそれぞれの成長した姿そのものだからです。

3年生は受験シーズンを迎えました。一番は心身ともに健康であることです。1・2年生は3年生の背中を見て、今の自分がやるべき目の前のことをひとつひとつ丁寧に、取り組んでいってくれることを期待します。

生徒達の安心・安全を最優先に教職員一丸となって取り組んで参ります。3学期もどうぞ宜しくお願い致します。

2 生徒会役員任命

2学期に選挙活動が行われ、立会演説会と選挙を経て、5名の生徒会役員が選出されました。大いに期待しています。そして、旧生徒会役員の皆さん、今まで生徒会活性化のため、力を尽くしてくれて、ありがとうございました。引き続き、中央委員としての活動をよろしくお願いします。その活動を通して、生徒会役員は多くのことを吸収し、活かしていきましょう。

【会長】I(2年)【副会長】K(2年) T(1年)

【会計】K(2年)【書記】W(1年) ※敬称略



3 生徒の活躍(表彰関係) ※敬称略

【全国中学生人権作文コンテスト栃木県大会】(優秀賞)S

【第57回 中学生の税についての作文】(小山市長賞)I (会長賞)Y (佳作)W

【路傍の石俳句コンクール】(佳作)A、O

【JA 共済県下小・中学生書道コンクール】(半紙の部 銀賞)(条幅の部 佳作)M

【栃木県学校教育書道書道作品展】(半紙の部 大賞)M (半紙の部 金賞)M

【第56回下野教育書道展】(金賞)S、Y、M

(奨励賞)1年生 18名

2年生 9名

3年生 6名

(入選)1年生 1名

2年生 6名

3年生 12名

4 今年度の学校評価の結果について

11月下旬に実施しましたが、その際にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

【回収率】教職員100%(23名)、生徒98%(136名)、保護者99%(122名)、地域住民96%(120名)

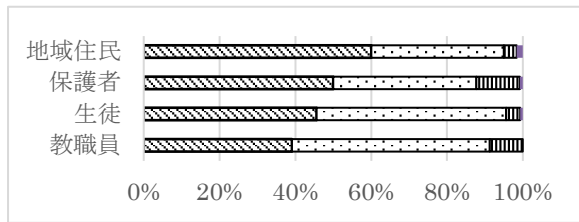
☑ とても良い

☐ 良い

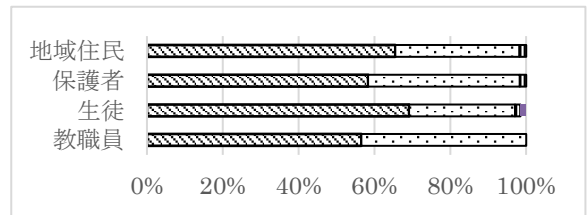
☐ あまり良くない

■ 良くない

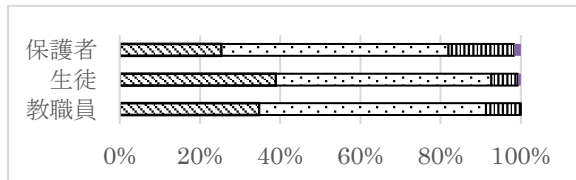
1 美田中生は、さわやかなあいさつが身に付いていますか



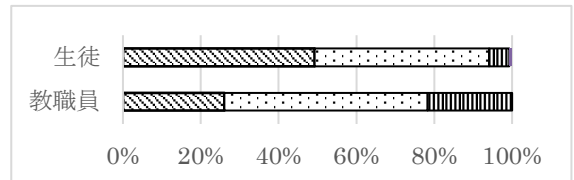
2 美田中生は勉強や部活動・学校行事等に主体的に取り組んでいますか



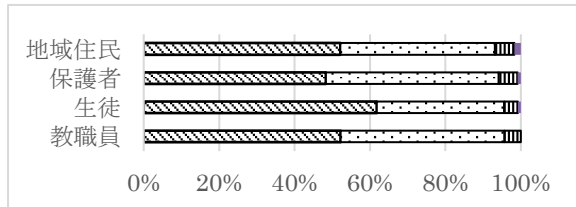
3 美田中生は家庭学習を進んで行っていますか



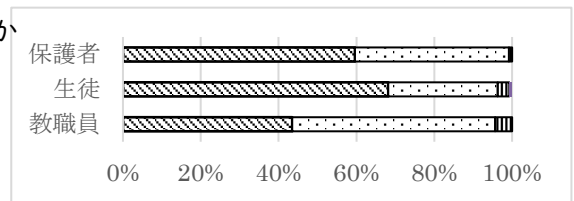
4 美田中生は、自分の考えを聞き手に伝わるように発表していますか



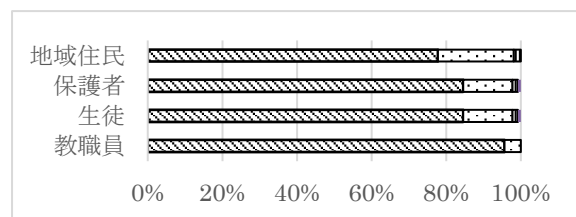
5 美田中生は思いやりのある言動がとれていますか



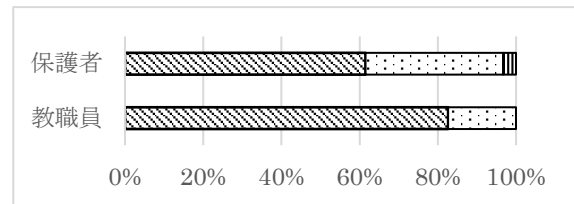
6 美田中生はきれいな学校づくりに一生懸命取り組んでいますか



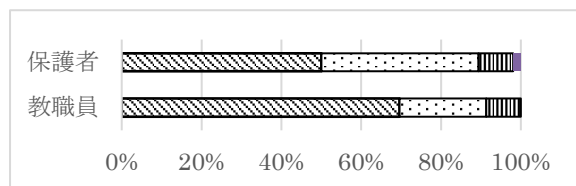
7 美田中生は学校行事や地域の行事でいきいきと活動していましたか



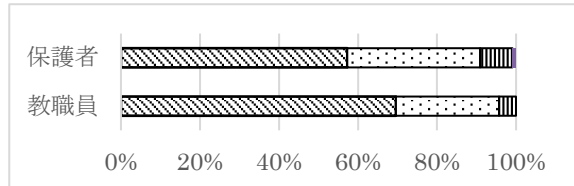
8 美田中の学校の様子、教育方針や教育内容はわかりましたか



9 美田中は、日々の教育活動の中の諸問題に対して、組織的に対応していますか



10 美田中は、小学校との交流や連携を通して、特色ある教育活動を行っていますか



～概要について～

○地域の方、保護者の皆様、生徒、教職員の多くが各項目において肯定的な回答をしています。概ね良好な評価をいただきました。

○特に昨年度と同様に項目2と7では、高い評価が得られました。学校行事等においてはご家族を中心に少しずつ参観していただく機会を増やすことができ、生徒が前向きにそして主体的に取り組んでいる姿を披露できたことが高評価に繋がったと考えられます。

○項目3の家庭学習の定着に関しては、生徒および保護者アンケートから、今年度も評価結果に課題が見られました。授業→振り返り→家庭学習という学習スタイルの定着を目指し、家庭と学校が連携して取り組めるよう工夫改善しながら継続的な指導に努めます。

○項目4の自分の考えの発表については、教師と生徒の評価に乖離が認められます。今後、更なる言語活動の充実と生徒の意識改革が課題と考えられます。

結果を真摯に受け止め、生徒たちのより良い成長のために力を尽くして参ります。ご協力ありがとうございました。